

2017年度学位記授与者数

研 究 科		専 攻	人数
大 学 院	理 工 学	物 質 工 学	0
		機械システム工学	0
		生 命 科 学	0
		物質機能工学	0
		生命環境科学	0
		小 計	0
	經 営 学	經 営 学	3
		經 営 学	0
		小 計	3
合 計		3	

学部	学科	人数
理工学部	食環境	10
	生物科	65
	機械工	24
	情報電子工	22
	生物生産工	0
経営学部	小計	121
	経営学	94
	人間文化	10
	人間教育	36
	小計	46
	合計	261

※学期末卒業者を含みます。

2017年度 学位記授与式

新たな夢に向かって



尾池学長から学位記を受ける学部総代の阿部百花さん

264人旅立ちの春

2017年度学位記授与式が3月20日、体育館で行われた。大学院修了生、学部卒業生合わせて264人が新たな夢に向かって学窓を巣立った。修了課程総代と学部総代に尾池守学長から学位記が授与され、川島記念学術賞の9人に日高義博理事長から表彰状が贈られた。

尾池学長は式辞で「皆さんがゼミや卒業研究を通じて、自分なりの最善の答えを見いだす方法を学んだことと確信しています。大学で学んだ方法を援用して、社会の諸問題に取り組んでください」と語りかけ、専修人として生涯にわたり学び続ける大切さを説いた。

修了生を代表して加藤由里絵さん(経営学研究科)が、学部卒業生を代表して設楽裕人さん(経営学部)が感謝の言葉を述べた。



学位記を手に笑顔の卒業生

述べて。

大学院で中小企業の会社を研究した加藤さんは

「先生方のご指導で会計の理論的裏付けを学ぶことができた。微力だが、知識と経験を地域社会への貢献に生かしていきたい」と決意を語った。

設楽さんはゼミで観光について学んだり、議員インターンシップに参加して地域の課題に目を向けたりと充実していた4年間を振り返り、「大学で培ったものを生かし、幅広い視野と洞察力を磨き続けたい」と力強く抱負を述べた。

当日は天候にも恵まれ、春の日差しが門出を祝福。卒業生たちは家族や仲間と写真を撮り合い、恩師と別れを惜しんだ。

定年5教授

長年にわたり研究や学生の指導に力を尽くされた5人の先生が定年退職される。

※氏名に続き、所属学科、主な担当科目、役職。

〔理工学部〕
土屋剛教授



生物科学科。「動物解剖学」「細胞組織化学特論」。キャンパス・ハラメント防止委員会委員長。議長11在職29年

〔人間学部〕
大谷尚文教授



人間文化学科。「フランク語」「仏語通訳研究」。学友会主任、図書館長11在職23年

菅原澄夫教授



情報電子工学科。「電磁気学」「音情報デバイス工学特論」。学友会主任、入学試験委員会委員長11在職29年

大津幸一教授



人間文化学科。「英語」「比較言語文化論」。国際交流センター長11在職19年

木村民男教授



人間教育学科。「キャリアデザイン」「キャリア開発」。保育士・教員養成センター長11在職5年10カ月

川島記念学術賞に9人

学術の分野で顕著な成績を収めた学生に対し、卒業にあたって授与される「川島記念学術賞」の17年度受賞者は理工学部4人、経営学部3人、人間学部2人の計9人。学科に続いて研究室・所属ゼミ、出身校、進路。

◆理工学部◆

鈴木 識央さん



食環境学科、福島美智子研究室、秋田県大曲高11秋田おぼこ農業協同組合

阿部 裕太さん



学部総代・生物科学科、芳賀信幸研究室、宮城県気仙沼西高11DCMホーム

照井 和成さん



機械工学科、高橋智研究室、宮城県仙台台高等専門

鈴木 勇渾さん



学校11仙台小林製菓情報電子工学科、木村健司研究室、宮城県佐沼高11東北電子工業

◆経営学部◆

阿部 百花さん



学部総代・経営学科、岡

設楽 裕人さん



経営学科、大浪健一ゼミ、山形県谷地高11スズキ自販山形

小松 大祐さん



経営学科、舛井道晴ゼミ、福島県相馬東高11佐藤製線販売

◆人間学部◆

佐藤 ひかるさん



人間文化学科、大縄道子ゼミ、宮城県石巻好文館高11東武トップツアーズ

菅 悠花さん



学部総代・人間教育学科、木村民男ゼミ、秋田県湯沢高11秋田県教育委員会(小学校教諭)

復興支援ワークショップ 経営・山崎ゼミ 仙台で開講



震災を風化させないことを目的に活動している経営学部・山崎泰央ゼミは、みやぎ連携復興センターと連携し「復興ボランティア」を3月11日、仙台市

で開講した11写真。当日は10〜60代の約30人が参加。ゼミ生2人がファシリテーターを務めた。残りのゼミ生はグループワークに加わり、震災後の課題や防災について考える手助けを行った。参加者からは「震災について改めて考える機会になった」などの感想が寄せられた。

関根哉さん(経営3・宮城県東北学院高)は「今回は社会人の参加が多く、さまざまな意見を交わすことができた。『3・11』という日に防災や減災について考える機会をつくられてよかった」と手紙を語った。

同ゼミは、復興支援活動の現在を伝え、地域の課題解決について考えるワークショップを2014年から行っている。これまで全国50カ所以上で約1100人を集め、高い評価を受けている。

佐藤匠さん 満点で合格

CAD1級試験



理工学部機械工学科4年次の佐藤匠さん(岩手県一関工業高)11写真11が2017年度後期3次元CAD利用技術者1級試験に満点合格し、一般社団法人コンピュータ教育振興協会から団体部門(大学・短大・高専の部)の最優秀者として表彰された。パソコンを使って設計・デザインするCAD試験の最上級で、今回の合格率は26.8%。高橋智准教授の指導で、卒業研究に取り組み

佐藤勝偉さん 初挑戦で合格

中国語資格最上級



人間学部人間文化学科4年次の佐藤勝偉さん(宮城県仙台台東高)11写真11が、中国政府が認定する中国語資格の漢語水

平考試(HSK)の最上級6級に初挑戦で合格した。佐藤さんは「自分の目で本当の中国を見てみたい」と2016年2月から1年間、本学の国際交流協定校である中国・温州大学に留学。帰国直後の昨年3月にはHSK5級を受検し、9割近い正解率で合格した。6級には5級の倍の5000語の語彙力が必要で、「毎日中国語で作文や日記を書き、中国の友人にチェックしてもらったことが大きな力になった」と話す。

中国東方航空に客室乗務員として就職し、3月から上海で研修している。「6級合格はうれしいが、納得のいく点数ではなかった。より高得点を取れるように知識を深めていきたい」と語った。